

シルバー

さんむ

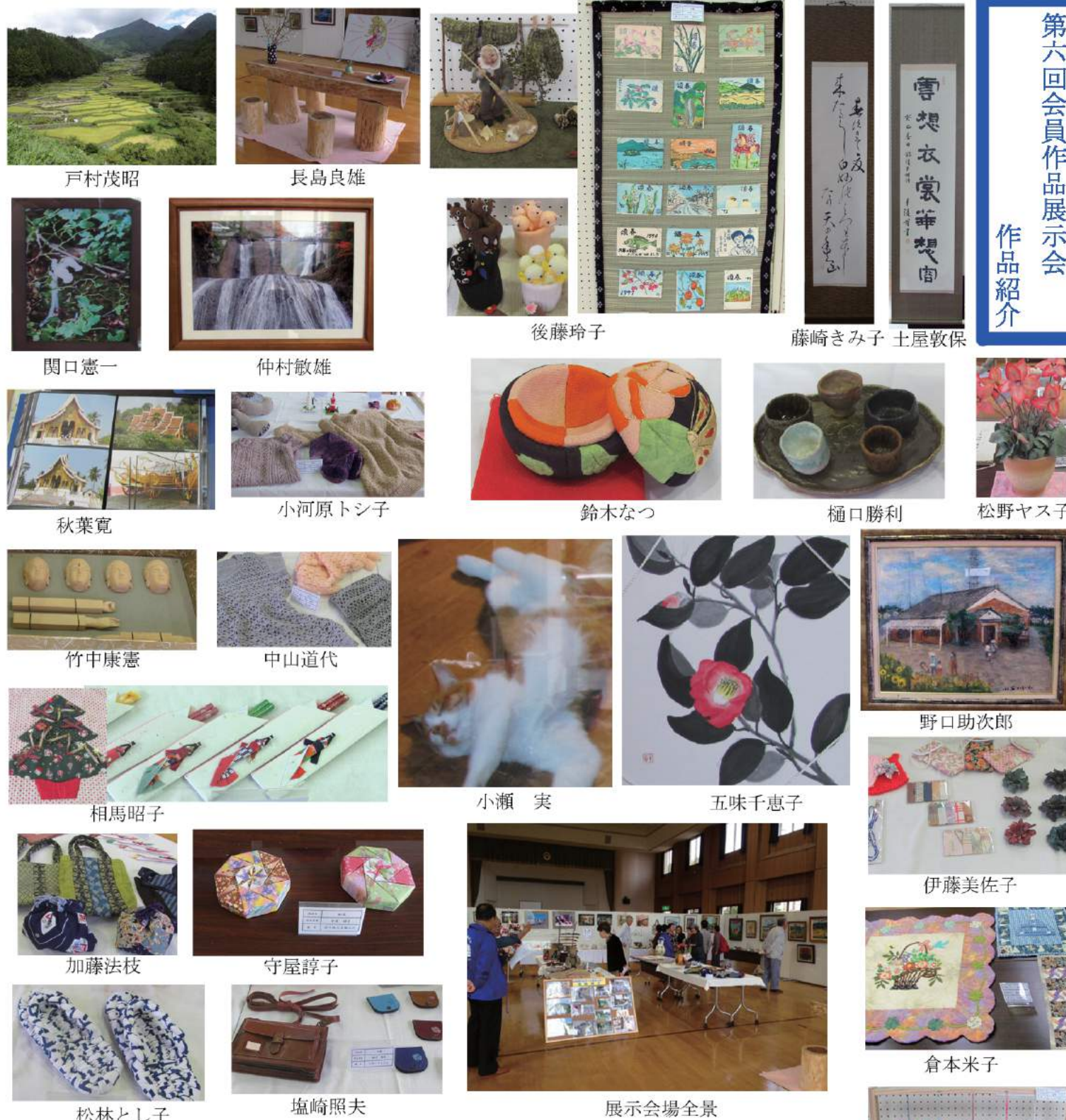
第 6 号

平成26年 1月

公益社団法人
山武市シルバー人材センター
〒 289-1514 山武市松尾町松尾47-3
☎ 0479-86-6616
FAX 0479-80-8280
メール sammu@sjc.ne.jp



11月10日・11日、参加者68名で会津東山温泉へ親睦旅行に行ってきました。今年には復興支援の気持ちを込め、福島県の旅となりました。あいにくの天気でしたが、いわき市塩屋崎灯台でバスを降りたら雨も上がり、集合写真を撮ることができました。海岸近くは津波被害で、未だに土台だけしかないところも多く、一日も早い復興を願います。



戸村茂昭

長島良雄

後藤玲子

藤崎きみ子 土屋敦保

第六回会員作品展
作品紹介

関口憲一

仲村敏雄

鈴木なつ

樋口勝利

松野ヤス子

秋葉寛

小河原トシ子

野口助次郎

伊藤美佐子

倉本米子

竹中康憲

中山道代

小瀬 実

五味千恵子

展示会場全景

相馬昭子

加藤法枝

守屋諄子

並木ノブ

田辺英夫

松林とし子

塩崎照夫

編集後記

明けておめでとう

新年を迎え、何か一つ始めてみませんか？健康でいたいと言えばウォーキングをするとか、趣味であれば、草花を植えるなど、なんでも目的を持つことが健康でぼけずに過ごせることだと思います。

(広報委員 布施孝)

これから、寒さが一番厳しい時期となりますので、くれぐれもお体に気を付けてお過ごしください。また、いつもシルバーの色々な活動にご協力をしていただき、誠にありがとうございます。何かお気付きの点、原稿の投稿などありましたらお知らせください。

8

田辺英夫

田辺英夫

新年明けまして

おめでと〜ございませす

会長 星久木 義雄



会員の皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

山武市シルバー人材センターも、設立以来九年目を迎えました。平成二十四年度よりは公益社団法人として再スタートし、組織運営も一括方式での実施となり二年目となりました。策定された事業計画に基づき、比較的順調に業務が推進されておりますことは、ひとえに役員・会員の皆様のご理解ご協力によるものと心より感謝申し上げます。

また、地域の方々にもセンターの活動に対する認知度も高まりつつあり、受注件数、契約金額とも昨年度よりは上昇傾向にあることを報告できます。

シルバー人材センター事業は、常に取り巻く社会情勢の変化に対応した運営をすべく「自主、自立、共働、共助」の理念のもと、課題を解決しながら、具体的方策を会員・役員が一体となって進めて行くことが必要であります。

女性部会主催「女性会員料理教室」

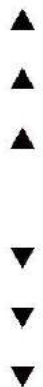
十一月二十八日松尾ふれあい館にて、女性会員対象の料理教室を開催しました。これは、女性部会主催の行事で、各地区の女性会員との親睦を深めるとともに会員同士が協力して、今後の家事援助等の仕事に役立てることを目的として計画をしました。参加者は委員も含め二十名でした。骨粗鬆症予防や塩分控えめのメニューで、レシピを片手に分量を間違えたりしながらも、和気あいあいと四品が完成し、楽しく試食をしました。参加された方からは、「みんなで話をしながら料理が作れ、大勢でそれを食べたのでとても楽しかった。」との声が聞かれました。

女性部会は、女性会員さんの親睦を図り、就業拡大や会員増強を目的としており、今年も日帰り旅行や各地区女性交流会、今回の料理教室を開催しました。女性部会が和やかな雰囲気で行われており、様々な行事で顔なじみになった会員さん同士が話をしている様子を見ていると、着実に成果が表れていると感じました。

女性会員のみなさん！ これからも参加よろしくお願ひします。



今、山武市シルバー人材センターは、理事会を中核として設置されている各委員会、地区地域、職群班等の機能を充分活用し、事務局や会員と連携を図りながら、円滑な運営を目指し事業活動に取り組んでおります。皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。地域社会に必要とされ、親しまれるセンターを目指し、そのことが私たちの生きがいとなって喜びを感じるよう力を合わせましょう。会員皆様のご健勝と安全第一での就業をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



皆様が明るい幸せな年に

山武市長 椎名千収



本年がシルバー・エイジを前向きに積極的に過ごされている素敵な皆様に明るい幸せな年になります様願っています。経済的にも地域的にも格差社会を実感する国に、いつの間にか成ってしまったこの日本と言う国、その国や県に頼るだけでは「地域社会」がダメになってしまいます。

事務局だより

『第二回新春芸能発表会』のお知らせ

昨年度大盛況でした会員さんのカラオケや舞踊等をお披露目する「新春芸能発表会」が次のとおり開催されます。皆さんお誘い合わせの上、ご来場ください。参加申し込みは一月十五日までです。

日時 一月十八日(土) 午前十時開始
場所 山武市蓮沼 スポーツプラザ
しおさい館



『お友達・お知り合いを誘って 一緒にお仕事しませんか?』

広報の記事でも紹介しましたが、当センターでは様々な行事に参加し、リーフレットを配布して周知活動を行っておりますが、入会希望者の方から、「会員さんに誘われたので入会したい。」という方が多く、やはり会員さんの口コミが一番の宣伝効果であると感じています。そこで、またまた協力の依頼ですが、皆さんのお友達・お知り合いを誘っていただき、一緒にお仕事をしませんか? 毎月第二木曜日に入会説明会を行っております。詳しくは、事務局まで連絡してくれるようお願い下さい。

気概は「自由独立の山武市」を目標に市行政も頑張っておりますが、自主的な財源にも乏しいことから、その出来る施策にも限りがございます。活力ある皆様のシルバーパワーには大きな期待をいただいています。

仕事量の確保は組織としてもご苦労の多いことと存じます。市といたしましても出来るだけご協力することとしていきます。山武市をご一緒に創ってまいります。

昨年の秋は当り年なのか庭の柿の木に沢山の実がつけました。脚立を懸けて収穫いたしました。若い時と違って身体が動かないのが身をもつて感じられ、慎重にならざるを得ませんでした。

六十八才の私よりも高齢の方も多く活躍のことと思えます。安全にご配慮いただき、お仲間同士和気あいあいの日々を過ごされますようお祈りいたします。



文芸

短歌

土屋 敦保

故郷に 今は父母なく 旧盆に 墓参りして 往時をしるぶ

つつましき 鑑真和上の 膝元に 萩の花咲く 飛鳥路を行く

道野辺に 赤く群れる 彼岸花 時季をたがえず 今年も咲きぬ

俳句

布施 孝

晩秋の 塩谷岬で ひばりの声

行く秋を 芭蕉のような旅をする 戸村 茂昭

カラタチの 実りに合せし 挽歌かな 島倉千代子の逝去に接し

カラタチの 小径でお千代 ぼろぼろり

川柳

仲村 敏雄

アベクロで 我が家の庭に 金蓮花

この年と とどめおきにし この病い

山武市健康福祉まつりに参加

十月六日、社会福祉協議会主催の山武市健康福祉まつりに参加しました。今年からお揃いの青いジャンパーを着て、ボランティア会員・役員でシルバー人材センターの業務や会員に関する内容等のリーフレットを約七百部配布しました。その効果が早速表れたのか、作業の依頼や会員入会の問い合わせがたくさんありました。また、会員皆様からご協力をいただいたバザーも大盛況でした。皆様のご協力で市民の方に当センターのPRが出来ました。



山武地区バザーに参加

広報委員 新田博



毎年恒例の山武地区社協主催のバザーが十一月三日にさんぶの森体育館にて開催されました。

我々山武地区の会員も朝八時に集合、曇天のなか体育館前の駐車場にテントの設営から綿菓子とポップコーンの販売の準備を行いました。手慣れたもので、誰の指示があるわけじゃないのに自主的に自分の持ち場の作業を決めて淡々とこなし、素早く販売の準備が出来ました。チームワークの良いのを見て非常に感心しました。昨年に比べて出足が悪かったですが、綿菓子、ポップコーンの人気は良かったです。トラブルが一つありまして、ポップコーンを焼く熱板の線が断線するわ、で数時間販売が中断されました。会員さんの中には何でも出来る人が居るものですね、機械をばらしヒューズ交換し、断線した熱板の線をつなぎ、販売を開始しましたが午後の終了間近でした。残念！ 来年は頑張りますよう。

山武市産業まつりでシルバー事業をPR

山武市主催の産業まつりが十一月二十三日にさんぶの森あらぎ館で行われました。当シルバー人材センターでは役員十名で、会場に訪れた市民の皆さんにティッシュやリーフレットを配布しながらPR活動を実施しました。また、新規事業開拓委員会での事業に役立てるために二百名の方に協力をいただき「シルバー人材センターを知っているか、会員の登録希望があるか」など簡単なアンケート調査も実施いたしました。集計結果については別途、会員の皆さんにお知らせいたします。



親睦旅行に参加して

成東地区 石井 一郎

年に一度の親睦旅行、総勢六十八名がバス二台に分乗、予定時間より若干早めに出発、楽しみにしていたバスの旅が始まりました。日曜日の早朝で各高速道も渋滞もなく順調に通過し、東北道へと入りました。待ちこがれた飲み物は、都内を抜けるまではノーサインでしたが、誰となく首都高に入る頃より始まり、東北道に入った頃にはアルコールも程良く体内に浸透し、後ろの方よりカラオケやアルコールの注文が次々と入り、車内も一気に盛り上がり熱気に包まれました。当然の如く小タイム回数が増える中、小まめに休憩を取りつつ予定より若干遅れて昼食会場へ到着。食後は、磐越道を通り各見学地へ、小雨が降り肌寒い中、予定通り見学を終えホテルに到着。しばしの休息の後、温泉に入り命の洗濯さっぱりした所で宴会場へ、二時間飲み放題の中、歌に踊りにと、また至るところで談笑の花が咲き、和気あいあいと楽しいひと時を過ごすことが出来ました。翌日は、予定に従い柏屋、かねまんにて休憩後、今なお、生々しく残る震災の爪痕を見ながら塩屋岬へ到着。休憩場所では当時の写真や被災状況等の説明を聞き、目や耳を疑うものもありました。また、各休憩場所においては皆さん沢山のお土産を買いました。楽しいバスの旅も終着へと向かい、無事家路につきました。一泊二日バスの旅、朝早くから夜遅くまで大変お疲れ様でした。



成東駅

シリーズ「職群班」

駐輪場班

日向駅・成東駅にある駐輪場の管理をしています。朝と夕方の通勤通学で利用者が多いそれぞれ三時間、複数の会員でローテーション就業を行っています。仕事の内容は、各駅にある駐輪場の「整理・整頓・清掃」で、利用者の方に気持ちよく使ってもらえるように気を付けています。

また、有料駐車場に登録されていない自転車が置いていないかどうかの確認もしています。地区ごとに班長がおり、班員の用事を考慮して、予定表を作成しています。



日向駅

○山武地区 木川哲男班長

日向駅は朝の電車が出発した後が一番忙しいです。時間ギリギリに駅に自転車に乗る方が多く、皆さん急いでいるので自転車の置き方もそれぞれです。その自転車を帰って来たときに取りやすいように整理をしています。

○成東地区 佐伯紀明班長

成東駅から自転車通学する高校生が多く、朝は忙しいです。駐輪場が三カ所あるので、一時間ごとに回るよう心掛けています。班員さんとは都合が悪い時は連絡を取り合いながら協力して、責任を持って皆で仕事に取り組んでいます。

班長さんからひとこと……

普及啓発促進月間への取り組み

毎年十月を普及啓発促進月間と定め、全国のシルバー人材センターで、会員参加型の社会活動や市民との交流の輪を広める事業が行われています。

当センターにおいても「地域社会にシルバー人材センター事業の社会的意義を強く宣伝・周知するとともに、理解と認識を深め事業のより一層の充実を図る。」を趣旨とし、新規受注の開拓や新規会員の入会の促進を狙いとして、会員皆さんの協力をいただきながら、一般市民の方々と交え、多くの活動・行事を行いました。当センターが、この十月に行った活動・行事は、次の通りです。

- 一、玄関入口にのぼり旗の掲示
- 二、健康福祉まつりへの参加
- 三、作品展示会の開催
- 四、経験交流大会の開催
- 五、安全講習会の開催
- 六、まつおこども園園児との交流

この普及啓発促進月間以外でも、当センターではさまざまな周知活動を行ってきた成果が徐々にありますが、今年度の新規受注の増加につながっているものと思われまます。また、新規会員の入会についても問い合わせも増え関心が深まってきた感があります。

現在、季節的に増加する作業や作業内容の多様化など、作業によっては就業する会員を手配すること

まつおこども園交流会に参加して

広報委員 長島良雄

事務局日より九月号に、まつおこども園・年長児と昔遊び交流会の見出しがあった。「昔遊び」という言葉に心魅かれ、参加申し込みをした。

当日「昔遊びのおもちゃ」と書かれたダンボールを他の参加者会員と四、五個を運び込んだ。先生方の「朝のごあいさつです」との声に、元気な甲高い「オハヨーゴザイマース」の挨拶。シルバー参加者の野太い「おはようございます」では、すでに勝負あったか。と感じていた。

第一部 シルバー会員・林さんマジックのはじまり、はじまり。林さんの手先から次々と繰り出される魔法に、言葉にならない ワー！ヒャー！という歓声。小さな椅子から落ちそうにして、その感動を身体いっぱい表現している。感性の豊かさ、演者にこれ以上の喝采はないだろう。

第二部 昔遊びのおもちゃのダンボールが次々ひっくり返され、中からは、昔懐かしいメンコ・お手玉・コマ・おはじき・けん玉・福笑い・あやとり等々が溢れた。園児たちは自分の興味があるおもちゃに駆け出し、ここでものびのびとはしゃぎ、そのパワーには圧倒され通しだった。

楽しいひとときはあっという間で、「アリガトーゴザイマスター」の合唱を背に、頭と心に心地の良い疲労感を感じながら園を後にした。

に時間がかかり発注者に希望通りの時期に作業出来ない場合や就業者が見つからない等の状況が生じています。それに対応できる人材がいなければ就業先のお客様に不便をかける結果となってしまいます。健康で仕事ができる幸せを感じ、会員相互の助け合い、生きがいづくりの場であるシルバー人材センターとして多くの方々に会員となつていただきたいと思います。これからも、地域に必要とされる魅力ある山武市シルバー人材センターを目指し、いろいろな機会を通じて市民の皆様を知ってもらえるように会員皆様と事務局が一体となって頑張りましょう。

経験交流大会開催

十月二十三日、松尾ふれあい館にて経験交流大会を開催しました。この大会は今年度初めての行事であり、会員自身が他の会員や市民の方々にシルバー人材センターでの就業活動内容を発表しました。今年の発表者と題名

- 戸村茂昭氏 『シルバー世代の就業心得 「自戒」を込めて「愚直」に徹せよ』
- 熱田猛夫氏 『会員さんの隠れた力』



十月はみんなで啓発を行いました

普及啓発促進月間

公益社団法人 山武市シルバー人材センター

河野大治氏 『シルバーでの私の仕事』
野口助次郎氏 『私とシルバー』
発表者の皆さんは、シルバーでの就業が地域貢献や生きがい作りにつながっているように感じました。また、上部団体の千葉県シルバー人材センター連合会指導員の吉田徳博氏の基調講演では、『会員としての心構え』と題し、「臨・短・軽」のイメージを変えて何でも出来るシルバーもこれからは必要ではないか。そして、会員が健康で楽しく働くことが地域で役立つことである。また、シルバー人材センター設立に携わった大河内先生の言葉で「手のひらから落ちるような小さな仕事をシルバーで」の精神が必要であるなどのお話をいただきました。



吉田徳博氏



野口助次郎氏

第六回会員作品展示会

広報委員 樋口 勝利

第六回会員作品展が、松尾ふれあい館多目的ホールで十月二十二日～二十五日の四日間開催されました。今回から会場が、のぎくプラザホールから松尾ふれあい館に移り展示スペースが広くなり、三十四人（内市民六人含む）、六十七作品（出展数百数点余り）が出展されました。

山武杉の太木を加工したテーブルとベンチの大作（搬入に一苦勞）や常連の方々の書、絵画やプロ級の写真、愛情たっぷりの手芸品等々多彩な作品です。特にシルバー人材センターのメインの仕事である、草刈り作業の飛散防止パネルに描かれたプリキユアや飛龍の絵は圧巻でした。展示された作品の数々はこの広報の裏表紙（8頁）に掲載してありますのでご覧ください。

この展示会開催中に、経験交流会、安全講習会を同時開催したこともあり百六十五名と多くの方々が来場されました。今後も、会場にミーティングコーナーを設けて、会員のコミュニケーションの場にしたと思っておりますので、会員の多数のご来場を期待しております。

蛇足ですが、色々な趣味を楽しむことは、ボケ防止長生きの秘訣と存じますが、いかがでしょうか。

最後に会場の設営、受付等にご協力いただきました会員有志、職員の皆様、また、作品を出展して頂きました皆様にお礼申し上げます。